

地 学  
と  
切 手



シエラ レオネのダイヤモンド切手

P. Q.

シエラ レオネ (Sierra Leone) は アフリカの大西洋岸にあって ギニアとリベリアに挟まれた国である。イギリスの植民地 保護領であったが 1961年立憲君主国として英連邦内独立をし 直ちに国連の100番目加盟国となった 人口約250万の国である。その名の起りは 1462年にここに来たポルトガルの探険家が 現在の首府フリータウンのある岬の形から Sierra Leone (Lion Mountain) と名付けたとのことで ライオンが国の象徴となっている。

1970年12月30日に 11種1組で発行された切手は 類をみない大型豪華切手で ここには低額2種を示した。2cには「鉄とダイヤモンドの国」下に「シエラ レオネでは 大きなダイヤモンド宝石が他のどの国よりも多くある」と書かれており 38.73カラットのダイヤモンド図案 7 1/2cには 50.65カラットの「シエラ レオネの宝」の図と 下には 2cのと同じ文が印刷されている。

シエラ レオネは 人口の5分の4が農業に従事する貧しい国であり 外貨はほとんどが鉱産物によって得られ さらにダイヤモンドが半額以上を占めている。アフリカ諸国のダイヤモンドの産出は ザイール(旧コンゴ・キンシャサ)が主位を占め 南アフリカ共和国 コンゴ(ブラザビル) ガーナと続き シエラ レオネは その後である。しかし この国のダイヤモンドは 宝石用の比率が高く 良質であるとされている。ダイヤモンドは 沖積層の中にあつて Alluvial と称されて 政府のダイヤモンド事務所によって買いとられなければならない。そしてほとんどは ロンドンへ輸出され Central Selling Organization によって鑑別 評価されてバイヤーに売られる。近年になってダイヤモンドの 宝石ダイヤモンドとしての比率が下る傾向があるが これは良質の宝石用ダイヤモンドが多分に密輸されているためとみなされている。一説

によれば 政府のダイヤモンド事務所を通じて輸出されるのとはほぼ同額であり 政府も警備員を1,200人置いているがほとんど効果がないとのことである。

最近世界で3番目に大きい「シエラ レオネの星」と名付けられたダイヤモンド原石が売り出された。この原石は未カットで 長さ6.35cm 幅3.81cm 重さ450g あつて 最低でも30億円以上だろうといわれている。

鉄鉱床は 先カンブリア紀の結晶片岩系中の赤鉄鉱白雲母片岩が風化作用により2次的に富化したものである。2次富化作用は 地表から15~30ft で時に50ft以上に及ぶことがあり 露天掘によって採鉱される。1964年以降は 年産約200万mtで オランダ 西独 英国に輸出されている。他に磁鉄鉱石 英角閃石片岩の2次富化鉄があり 鉱量も1億t以上とされているが 経済的な選鉱が不可能のために未開発のままである。

クロム鉄鉱は 1929年に発見され 1937年から開発に着手し 1962年の産出高は 4,000 トンで ほとんどアメリカへ輸出されている。

ボーキサイトは 1963年から採掘され1964年に12万7千トン 65年に17万3千トン 66年に24万トンが輸出された。

ルチールは 1964年に発見され確定鉱量は300万トンであるが 推定量は3,000万トンとされ 世界最高の埋蔵量が期待されている。その採掘権は Sherbro Mineral Ltd. (ブリティッシュチメン製造会社と ピッツバーグガラス社の共同出資)によって25年間取得され 1966年から輸出が開始された。

アフリカ鉱物資源地図: ジェトロ による。